

1. 夏季大会、秋季大会の2回、高1と高2で編成された団体戦形式で実施する。
2. 夏季大会は、県高体連を通じて優先利用申し込みができた日程に従って、8月の新人戦個人戦予選後の連続した2日間、男女各1日で実施する。男女の日程の1日目は、偶数年を女子、奇数年を男子とする。
3. 男女各3つの部は、総合運動公園（以後「本会場」と称する）ではなく、しあわせの村等のコート（以後「別会場」と称する）にて行う。神戸支部として、しあわせの村を押さえられなかった場合は、各部にて主幹校が中心となって、別会場を設定する。別会場の日程は本会場の日程と同一日程とする。サーフェスは問わない。別会場を、各校のテニスコートではなく外部のレンタルコートで行った場合、後日領収書を神戸支部長に提出し、神戸支部長が常識的な範囲であると判断した場合、神戸支部がその費用を負担する。
4. 本会場で行うリーグは男子は1・2・6・7部とし、女子は1・2・3・6部とする。
5. 別会場で行うリーグは男子は3・4・5部とし、女子は4・5部とする。
6. 夏季大会はノーアド、秋季大会は1セットマッチで行う。夏季大会、秋季大会ともにノーレットルールを採用する。夏季大会は自動昇降格とし、秋季大会は入れ替え戦を行う。天候等不測の事態により変則的な試合形式を採用せざるを得なかった場合、それはその当日、該当するリーグだけのこととし、他のリーグ、別日程、入れ替え戦にまで影響は及ぼさないこととする。
7. 秋季大会は各リーグごとの日程で各校会場で行う。
8. 日没、降雨等の影響で、やむを得ず、残ったポイントだけを別日程で行う場合がある。
9. 私的都合、怪我、病気（法定伝染病を含む）等の理由で、設定された大会日程で出場できない選手がいる場合は、メンバーを変更しなければならない。
10. リーグは、4校を1リーグとし、男子6部リーグ、女子5部リーグを置く。男子7部、女子6部は、トーナメントとし、新規参加校は、トーナメントに入ることとする。
11. トーナメントを実施する学校数が、実質的に12校を越えた場合、新たにリーグを設置する。トーナメント参加校が3校ないし4校の場合は暫定措置としてリーグ戦を行う。
12. リーグ、トーナメント共に、3単2複の5ポイントの団体戦とする。単・複を兼ねて出場することはできない。
13. 登録順位は、夏季、秋季、入れ替え戦、すべて新人戦団体戦の登録通りとし、残りは校内順位とする。これは、新人戦団体戦に登録した9人の選手に関しては順位の変更を認めない、ということであり、新人戦団体戦に登録した選手しか試合に出られない、ということではない。選手登録人数に制限はない。
14. 新人戦団体戦にエントリーしなかった学校については、エントリーしていたと仮定して、ルール上認められる校内順位を適用する。
15. 夏季は各会場において、秋季は各リーグにおいて開会式を行い、代表者会議の際、各校は本ホームページ内にある「選手登録表」を公表し、全顧問が確認したのち大会を開始する。大会がすべて終了した後の疑義は受け付けず、大会結果は成立するものとする。
16. 新人戦個人戦でシングルス本戦に出場した選手は出場できなかった選手よりも必ず上位に置かなければならない。本戦に出場した選手が複数いる場合、その順位は校内順位とする。ダブルスでの本戦出場に関しては考慮しない。
17. 新人戦個人戦本戦結果次第で、高体連トーナメント委員会にて新人戦団体戦の登録順位が自動的に変更された場合、登録順位変更の公表以降は変更後の順位で団体戦を行う。
18. ダブルスでは登録順位の合計が少ない方をD1とし、合計が同数の場合は登録順位上位選手が含まれるペアをD1とする。
19. 3人以上であれば、大会に参加できることとする。なお、以下の文中、ドローとはスコアに含めない引き分け、アドバンテージのスコアは6-0とする。

(1) 一方のチームだけが7人に満たない場合

3人（3単）、4人（2単1複）、5人（3単1複）、6人（2単2複）、残りのポイントは相手チーム校のアドバンテージとする。たとえば、5ポイント全員そろっているA校と、3人しかいないB校が対戦した場合、ダブルス2本は6-0でA校が勝った状態から始まる、という意味である。従ってB校はシングルス3本のうちの1本でも落とした時点で負けが確定する。シングルス3ポイントで決着をつける、という意味ではない。

(2) 両チームとも7人に満たない場合

a) 5人对5人、6人对6人が対戦し、2ポイントオールになった場合は、得失ゲーム数の差の多いチームを勝ちとする。

b) 3人对3人、3人对4人の場合、5ポイントのうちの複2ポイントはドローとし、単3ポイントのみで勝敗を決める。

c) 3人对5人、3人对6人、4人对5人、4人对6人、5人对6人の場合、人数が多い方のチームも、もともと4ポイントしか戦えなかったはずであるから、5ポイントのうちのD2のポイントはドローとして、4ポイントで団体戦を行い、さらに人数が多い方のチームにD1をアドバンテージとする。

d) いずれのケースにおいても2ポイントオールになった場合は、得失ゲーム数の差の多いチームを勝ちとする。

20. 上記18の場合、下記21のポイント計算、取得ゲーム率計算になった場合、ケース分けがきわめて煩雑となるため、状況に応じて対処する。

21. 上記18における「人数」は登録人数を原則とするが、体調不良等で、試合を行えない選手がいる場合は、「試合可能な人数」をさすこととする。たとえば、4人で登録しているチームの場合、一人の選手が体調不良で試合が行えない場合、「4人チーム」として「2単1複」を強制されるのではなく、「3人チーム」として「3単」を主張できる、ということである。

22. リーグ戦の順位決定は次の要領で決定する。

[1]勝数が多いチームが上位

[2]同一勝数のチームが2チームの場合、直接対戦の勝者が上位

[3]同一勝数のチームが3チームの場合、獲得ポイント数が多いチームが上位

[4]同一獲得ポイント数の場合、取得ゲーム率（取得ゲーム数÷全ゲーム数）の高いチームが上位

【ポイントの計算、具体例】

	A校	B校	C校	D校	順位
A校	\	5-0	5-0	5-0	
B校	0-5	\	4-1	2-3	
C校	0-5	1-4	\	5-0	
D校	0-5	3-2	0-5	\	

→A校獲得ポイント 15

→B校獲得ポイント 6

→C校獲得ポイント 6

→D校獲得ポイント 3

この時点で、A校の1位、D校の4位は決定。B校とC校が同一ポイントで並んだため、取得ゲーム率で決める。

(B、C、D校がすべて1勝2敗で並んだ時点で、「同一勝数のチームが3チームの場合、獲得ポイント数が多いチームが上位」の項目に準じるため、B校とC校の直接対戦ではなく、3対戦・計15試合の取得ゲーム率で比較する。)

【取得ゲーム率の計算、具体例】

B校の戦績

対A校	対C校	対D校
1-6	6-4	6-3
1-6	2-6	6-2
2-6	7-5	1-6
6-7	6-1	3-6
4-6	6-2	5-7

例として対A校で計算すると、 $(1+1+2+6+4)/(7+7+8+13+10)=0.28 \rightarrow$ 取得ゲーム率 28%

23. 1部リーグ1位校には、持ち回りカップと賞状、レプリカの楯、2位校には準優勝の賞状を授与する。
24. 2部以降のリーグに関しては各リーグ1位校に賞状を授与する。
25. 大会の主管校は、ひとつ前の団体戦（夏季は前年度の秋季、秋季は同年度の夏季）の第3位校があたる。ただしトーナメントの部については2位校とする。
26. 主幹校は、すべての報告義務を負うものとする。
27. 主幹校の記録、結果報告は「兵庫県高体連テニス部神戸支部のWebサイト」の「ダウンロード」ページ内のフォーマットにて行うものとし、記録されたファイルは「お問い合わせ」メールに添付する形で報告することとする。
28. 秋季大会に関しては試合日程、会場、開始予定時間、雨天予備日等は、主幹校を中心に各リーグ参加校が話し合って決定し、決定内容を主幹校が事務局に報告する。
29. 夏季団体戦に関しては自動昇降格とし、秋季団体戦に関しては、各リーグ1位校が、上位リーグの4位校と、入れ替え戦を行うこととする。
30. リーグ戦、入れ替え戦を棄権した場合は自動的に下位リーグに移る。
31. 入れ替え戦の会場は、入れ替え戦以前の上位リーグ校で行うことを原則とし、日程、開始予定時間、雨天予備日等は、当該校どうしが話し合って決定する。以上の決定事項に加えて、入れ替え戦の結果までの報告は、すべて入れ替え戦以前の上位リーグ校が行う。
32. リーグ内の進行は原則として、下記の順番とする。（表の中の順位は、ひとつ前の大会でのリーグ内順位）対戦順（セルが同色の対戦は同等とする）

対戦順（セルが同色の対戦は同等とする）		
1位	VS	4位
2位	VS	3位
1位	VS	3位
2位	VS	4位
1位	VS	2位
3位	VS	4位

33. セルフジャッジとする。
34. 使用球は、ダンロップ・フオート イエローとし、各校16球ずつ持ち寄る。
35. 実施要項の変更・追加は、神戸支部顧問会議で決定する。
36. 夏季大会に関して、警報発令時は以下の通りとする。午前7時現在、会場地区（神戸総合運動公園であれば「神戸市」）に大雨、洪水、暴風警報のいずれかが発令されている場合、顧問は8時半に本会場、別会場にそれぞれ集合しなければならないが、生徒は待機とし、午前8時に解除されていれば生徒は9時半集合10時開始。午前8時に解除されていなければ大会は延期し、秋季大会と同様、各部にて試合を行う。
37. 夏季団体戦を大会役員が実施できないと判断した場合、大会を中止することとする。ただし、男女両方に適用されるとは限らない。
38. 秋季団体戦は11月末までに終了させることを目標とし、年度末までに入替戦が実施できない場合、無条件で自動昇降格とする。
39. 監督、学校長から任命を受けた引率責任者が不在となった時点で棄権扱いとする。
40. 服装に関しては高体連主催大会の服装規定に則る。